意見交換会実施報告書

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成２４年１２月３日（月）　午後７時００分　～　午後８時３０分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>東和総合支所（３階会議室）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者　武田　節夫　　司会者　相澤　吉悦
報告者　佐藤　尚哉、　岩淵　勇一
記録者　岩淵　正宏</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>１２人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容報告</td><td>議会報告</td><td>○　議会、議員活動について
○　議会改革推進会議について
○　議員定数について
○　議員報酬について</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>（議員定数について）
Q　議員がいなくなる地域が出ては困る。なにを基準にしているのか、他市で減らしているからか。
A　他市だけでなく少子高齢化に基づき全国的に減少傾向です。ある市民からは、減らすべきという意見も出されておりますので、今回の開催で意見を聞きたいと思っています。
Q　財政上では減らしたほうがいいかもしれないが、住民のためには減らすことはない。会派ごとに根拠を言ってほしい。
A　登米フォーラム、登米・みらい 21、新・立志の会、日本共産党市議団、相澤吉悦議員の順でそれぞれ提案の根拠を述べました。
Q　定数は減らすことはない、報酬をカットすべきでは。
A　報酬審議会に意見として伝えます。
○　議員定数は減らさないでほしい。東和まで来てほしい、活動が見えるように。
○　次が３期目、どの議員も市内全部を掌握していない。次の選挙はこの人数のままで、次々回の選挙で 2 名減にしては。多くの地域に目を向け勉強して市民に返してほしい。政務調査費は正当な支出であれば、あったほうがいい。
○　後ろ向きの発想だ。人口が減るから議員を減らすのではなく、人口や産業を増やし、登米市が復興するのであれば増やしてもいい。

（その他の事項）
Q　参加人数が少ない、原因は。
A　曜日と時間設定、及び開催場所が東和町 1 カ所なので、集まりづらいのではないかと思います。
Q　公共下水道の設置外で、浄化槽を設置しなければならない。しかし低所得者は楽ではない、どうにかできないか。
A　市設置型の浄化槽制度もあります。公共下水と同じ料金ですが分担金もかかります。</td></tr>
</table>

		Q　報酬とは別に政務調査費がでるのか。 A　政務調査費は、一人あたり月 30.000 円から 25.000 円になりました。個人が貰うものではなく、会派及び議員の活動費として支給されます。 Q　消防東出張所は、東和総合支所にして、用地を買わなくてもいいのではないか。 A　東出張所はカバーエリアの一番高くなるところを候補地に選定検討しています。 Q　政務調査費がないと議員活動ができないのか。 A　会派ごとに、県外の先進地を視察したりするためのものです。 Q　東和総合グランドは 25 年に完成するのか。 A　現状復帰は無理と思われます。いま、国に復旧計画の査定を出している段階です。 Q　三陸自動車道の、東和の山分の売買価格は。 A　後で調べて報告します。 ○　市内企業の給料を考え、報酬を決めてもらいたい。
要望・提言等		Q　政治的意識が低い。11 月 27 日の公開討論会で議員は３名しかこなかった。テーマとして政務活動や福祉分野も提案してほしい。 A　特色ある会派活動は必要。タウンミーティングなど地域に出で、市政に反映できるようにしたい。 ○　前回の回答は「改善しました」だけ、「それを受け、このような提言や活動をしました」と回答すべき、このような議員であれば要らない。
その他 特記事項		